

会議録

会議の名称	令和7年度 第2回和泉市教育委員会評価委員会
開催日時	令和7年5月29日(木) 午前10時00分～午前11時30分
開催場所	和泉市役所3A・3B会議室
出席者	<p>教育委員会評価委員 委員長 平良 伸哉 委員 杉田 菜穂 委員 川口 厚</p> <p>教育委員会事務局 参与 並木 敏昭 教育・こども部 部長 東 直樹 教育指導監 上田 茂幸 学校教育担当次長兼学校園管理室長 鍛冶 公哉 教育総務課長 奥 信介 教育総務課長補佐 大西 薫 教育総務課総務係主事 西川 世理奈 学校園管理室教育施設担当課長 大内 浩平 学校園管理室保健給食担当課長 濱田 直美 学校教育室長 永井 敬 学校教育室教育推進担当課長 隅埜 哲弥 学校教育室教職員担当課長 岩井 靖久 学校教育室人権教育担当課長 柴田 邦浩 学校教育室児童生徒支援担当課長 仲谷 正太郎 こども未来室長 西角 雅士 こども未来室幼保運営担当課長 北野 剛司 こども未来室幼保育成担当課長 藤木 守 こども未来室幼保育成担当参事 田中 充己</p>
会議次第	<p>1.開会 2.評価委員紹介 3.職員紹介 4.スケジュール確認 5.教育・こども部ヒアリング (1) こども未来室 (2) 学校園管理室 (3) 学校教育室</p>
ヒアリング内容	
取組項目番号3 川口委員	<p>保育士等の子どもの優先入所について、市費負担講師を対象とすることは想定しているか。</p>
北野課長	<p>保育士等の子どもの優先入所については、待機児童解消にあたり、保育士不足の対応策として一時的に実施しているところであり、現時点では保育士以外の職業について優先入所は考えていない。</p>

<p>取組項目番号4</p> <p>平良委員長</p> <p>隅埜課長</p> <p>平良委員長</p> <p>杉田委員</p>	<p>今後、全国学力・学習状況調査等において CBT 方式での調査が増えてくるため、実施にあたっては本番で支障が出ないよう事前に十分準備いただきたい。</p> <p>また、デジタル教科書の活用状況について教えてほしい。</p> <p>英語については国から全小学校・中学校に対して無償提供されており、算数・数学については本市では約半数の学校が国から無償提供を受けている。</p> <p>デジタル教科書は紙の教科書と併用し、必要に応じて使い分けている。</p> <p>フィンランドやスウェーデンではデジタル教科書を導入した結果、学力や集中力の低下がみられたため廃止したという事例もあることから、本市においてもデジタル教科書の活用についてはしっかりと対応いただきたい。</p> <p>デジタル教科書の活用頻度が学校によって違うのであれば、活用頻度に基づく成績などの変化を分析し、デジタル教科書の活用効果を把握することが重要である。</p>
<p>取組項目番号5</p> <p>平良委員長</p>	<p>英語の学力向上のためには実用英語検定の受験料を補助することも良いが、授業改善など学校での学習にかかる取組みを充実させることがより効果的だと思う。</p>
<p>取組項目番号7</p> <p>杉田委員</p> <p>仲谷課長</p> <p>川口委員</p>	<p>不登校児童生徒への対応については、教員による指導・相談体制と別に重点的な対応として、養護教諭・スクールカウンセラー・相談員等による専門的な指導・相談体制を設けているという理解でよいか。</p> <p>不登校児童生徒対応の体制充実による教員の負担が気懸りである。</p> <p>不登校児童生徒対応の体制を充実させることで教員の負担が多くなるが、問題が改善することで不登校児童生徒やいじめ、暴力等の対応件数が減り、子どもたちが安心して学校に来ることができる状況ができ、ひいては教職員の業務負担も改善すると考えている。</p> <p>正職員の社会福祉士の教育委員会事務局への配置、スクールソーシャルワーカーの会計年度任用職員としての雇用について高く評価する。今後も継続して取り組まれない。</p>
<p>取組項目番号8</p> <p>平良委員長</p>	<p>「保護者や地域の人々の参画等による家庭や地域社会と一体となった道德教育に関する取組み」については、情報発信だけでなく地域の方と交流できるような取組みについても検討いただきたい。</p>

<p>取組項目番号9 平良委員長</p> <p>川口委員</p>	<p>語学指導員の確保が大変な状況の中、日本語指導を必要とする児童生徒に対しては翻訳機等の活用により、さらに学習の環境を整えていただきたい。</p> <p>令和5年度と令和6年度の課題と改善策が同じ文言になっているので、事業の進捗が分かるような記載について検討されたい。</p>
<p>取組項目番号10 仲谷課長</p> <p>平良委員長</p> <p>仲谷課長</p> <p>平良委員長</p>	<p>第1回委員会で平良委員長から質問があった部活動指導員については、現在中学校6校に11人配置しており、テニス部やバレーボール部、吹奏楽部などでご協力頂いているが、平日の夕方に活動できる人材の不足や、学校が必要とする種目と部活動指導員が指導できる種目が合致するケースが少ないことなどが課題である。</p> <p>また、第1回委員会で杉田委員から質問があったPTAについては、令和6年度に富秋中学校、令和7年度から伯太小学校で廃止しており、芦部小学校、黒鳥小学校のPTAが市PTA協議会を休会している状況である。</p> <p>PTA活動は子どもの健全な育成を図ることを目的に、保護者と教員が協力して活動を行う社会教育関係団体であり意義深いものだが、活動の形は各校の実情に応じて様々であって良いという認識である。</p> <p>PTAを解散した学校について経過を教えてほしい。</p> <p>PTAを解散した学校については、役員のなり手や会議への出席者が極めて少ない状況が続いた一方で、学校の活動に積極的に関わる方もいたことから、PTAという形ではなく、保護者や地域の方にボランティアとして学校の活動に関わっていただく形に変更した。</p> <p>PTAについては、なり手不足などで解散する事例が全国的にあることから、対応についても検討していただきたい。</p>
<p>取組項目番号12 平良委員長</p> <p>濱田課長</p>	<p>食材高騰による給食費の値上げについては、できるだけ保護者の負担が軽減されるような方策を検討いただきたい。</p> <p>また、給食調理の事業者委託にあたり衛生管理や給食の質等の問題が発生していないか。</p> <p>保護者負担の軽減については検討していく。</p> <p>委託事業において衛生管理等について特に大きな問題は起こっていない。</p> <p>民間委託にあたっては事業者選定の際に価格だけでなく質も含めたプロポーザル方式で選定し、委託後は定期的に巡回し衛生管理などの状況を確認している。</p>

<p>取組項目番号13</p> <p>杉田委員</p> <p>川口委員</p> <p>濱田課長</p>	<p>内科健診有所見者受診率の低下を踏まえ、受診勧奨にかかる重点的な取組みと丁寧な経過観察が必要と考える。</p> <p>性についての問題が注目されている中、学校において男性の医師が女子児童生徒を健診するケースはあるのか、現状を確認したい。</p> <p>健診は主に学校医が行っており、女性の医師を一定数確保することが難しいことから男性の医師が女子児童生徒を健診する場合もあるが、その場合も国・府の指針に基づき、不要な部位は脱衣しないなど検診の方法には留意している。</p>
<p>取組項目番号15</p> <p>平良委員長</p> <p>大内課長</p>	<p>(仮称) 富秋学園整備について特長を教えてください。</p> <p>「地域とともにある学校」をコンセプトとし、図書館を地域開放する位置づけで運用面について検討しているところである。</p> <p>また、環境整備についてはこれまでとは違った新しい学び方ができるよう、ホワイトボードやプロジェクターを導入する、学年間・異学年間の交流を促進する場として各階の中央部分に交流ラウンジを設けるなどの取組みを進めている。</p>
<p>取組項目番号25</p> <p>川口委員</p> <p>杉田委員</p> <p>仲谷課長</p> <p>平良委員長</p> <p>その他</p> <p>川口委員</p>	<p>留守家庭児童会の民間委託にあたり、児童虐待にかかる早期発見、関係機関との連携についてしっかりと対応できるよう体制強化する必要がある。</p> <p>実態として小学校の教員や留守家庭児童会の支援員が虐待を発見するような事案があるか。</p> <p>最近においても、留守家庭児童会の支援員が児童のあざを発見し、教員と連携のうえ教育委員会事務局に報告した事案があった。留守家庭児童会においても、あざなど虐待の痕跡といったところも確認しながら対応している認識である。</p> <p>虐待への対応については学校と同様に、留守家庭児童会においても支援員への意識徹底を図りたい。</p> <p>本報告書において「市費任期付教育職員の配置」についての記載が見受けられないが、評価できる事業であり予算額も大きいため、取組みとして記載しておいたほうが良いのではないかと。</p>

岩井課長

整理のうえ、第3回委員会で報告する。

以上